

# ふるさとでのいのちをつないでいこう...



さまざまないのちが息づく里山



ライチョウ



花に集まるさまざまな虫たち

## 生態系の中で つながるいのち

みなさんは、「生物多様性」という言葉を聞いたことがありますか？

生物多様性とは、「たくさんさんの生物がいて、それぞれに違いがあり、つながりあっていること」を言います。

地球上には、知られているだけでも約170万種、未知のものまで含めると数千万種もの生物が暮らしています。そしてそれらは、食う・食われる、あるいは花粉を運ぶといったさまざまな関係でつながり合っています。つまり、人間を含めた地球上の「いのち」が互いにつながりあい支え合っているのです。私たち人間も地球という大きな生態系の一員であり、さまざまな生き物たちのいのちによって生かされているといえるでしょう。

では、生物多様性や身近にある豊かな自然が私たちに

の暮らしにどうかかわっているのか、一緒に考えてみましょう。

## 変化に富む地形 美しい四季の自然

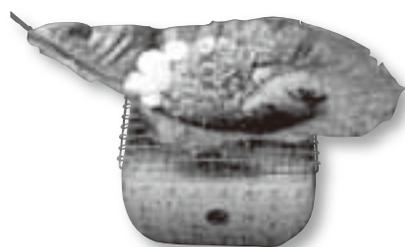
日本一広い面積を持つ高山市には、2つの国立公園、5つの県立自然公園のほか、自然環境保全地域や緑地環境保全地域など、自然環境を守る地域が指定されており、四季それぞれに美しい自然を間近で目にすることができます。標高差も大きく、436m(上宝町吉野)から3190m(奥穂高岳)にわたって、さまざまな自然の姿と生き物の生活を見ることができます。

## 集積された知恵と 私たちの暮らし

昔から人々は、暮らしの



一位一刃彫



朴葉みそ

中に動植物を巧みに利用してきました。長い年月をかけて集積した知恵を生かして、資源としての生物を守りながら効率的に活用してきたのです。朴葉みそや朴葉もちなども、自然のめぐみをうまく活用する人の知恵の産物でしょう。

木を使う文化は、やがて芸術の域に達し、さまざまな工芸品も生み出されました。それらは今なお愛され使い続けられています。

## 小中学生向けの冊子 全国で初めて作成

市は、小学6年生と中学3年生の授業で使用するため、『ふるさとでのいのちをつないでいこう』と題した冊子を作成しました。この冊子では、市内の豊かな自